

タオル誕生

—和泉木綿の紡いだ軌跡—



『綿圃要務』より「綿全圖」
(国立国会図書館デジタル＝
コレクションから編集・転載)

太鼓機（当館蔵）
*松浪米蔵特許焼印付き

歴史館いずみさの
入館無料

令和3年

1/23(土) - 3/21(日)

◆開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

◆休館日：月曜日・祝日(1/25, 2/1, 2/8, 2/11, 2/15, 2/22, 2/23, 3/1, 3/8, 3/15, 3/20)

日本タオル
発祥の地
いずみさの



タオル誕生

—和泉木綿の紡いだ軌跡—

日本のタオル産業発祥の地、泉佐野。そのルーツは江戸時代にさかのぼります。江戸時代以降「和泉木綿」と呼ばれるその名を馳せた泉州地域の木綿は、佐野を中心に生産高を拡大します。明治時代に入ってもその勢いは衰えず、上瓦屋（現泉佐野市）の松浪米蔵による太鼓機の開発など新たな織機の登場が品質の向上・生産量の増加を後押ししました。綿織物の基盤を築き上げてきた泉佐野に転機が訪れたのは、明治十八年（一八八五）のこと。佐野（現泉佐野市）で白木綿業を営む里井圓次郎が舶来タオルと出会い、その製織法を研究し、織機の開発に成功します。これを機に、木綿の一大産地泉佐野は、全国一のタオル産地へと発展を遂げました。本展示では、泉佐野で誕生したタオル業について、そのルーツとなる「和泉木綿」からタオル誕生に至るまでの軌跡をたどり、日本のタオル産業の原点を振り返ります。

⑧日本遺産ガイダンスセンター竣工記念 館長講演会

「今に生きる中世日根荘の遺産 ～史跡から日本遺産へ～」

1月30日(土)

講師：坂井 秀弥（当館館長）
時間：午後1時30分～午後3時（受付は午後1時から）
定員：20名（事前申込制・聴講無料）
場所：当館 地階研修室
申込：1月5日(火)以降、電話または当館窓口まで

冬季企画展 講演会

「毛布誕生—和泉木綿の紡いだ もう一つの軌跡—」

2月27日(土)

講師：奥野 美和 氏（泉大津市教育委員会 生涯学習課文化財係）
時間：午後1時30分～午後2時30分（受付は午後1時から）
定員：20名（事前申込制・聴講無料）
場所：当館 地階研修室
申込：2月2日(火)以降、電話または当館窓口まで

冬季企画展 関連講座

「タオル業発展史と泉佐野」

2月24日(水)・28日(日)

講師：大松 さやか（当館学芸員）
時間：午後1時30分～午後2時30分（受付は午後1時から）
定員：20名（事前申込制・聴講無料）
場所：当館 地階研修室
申込：2月2日(火)以降、電話または当館窓口まで

展示解説

2月24日(水)・27日(土)・28日(日)

講師：大松 さやか（当館学芸員）
時間：午後2時50分～午後3時30分
定員：各回20名（聴講無料）
場所：当館 特別展示室
申込：不要

※感染症対策を実施の上開催いたします。
※マスクを着用の上ご参加ください。
※事前申込がない場合は、聴講をお断りする場合がございます。



綿繰り機（当館蔵）



チョンコ機（復元・当館蔵）



シャトル（当館蔵）



糸車（当館蔵）



レイクアルスタープラザ・カワサキ 歴史館いずみさの

〒598-0005 泉佐野市市場東一丁目295-1
TEL：072-469-7140

〔アクセス〕

南海本線 泉佐野駅下車 1.6km 徒歩約20分
JR 阪和線 熊取駅下車 1.9km 徒歩約25分